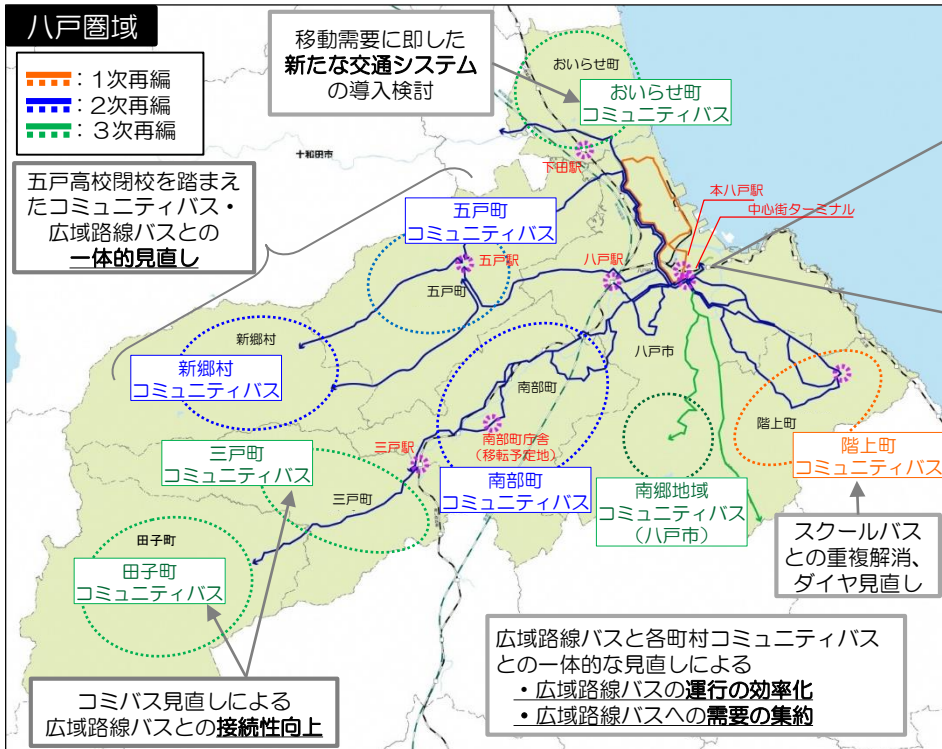


# 32.八戸圏域地域公共交通再編実施計画

- 広域路線バスと地域内交通について、路線の重複解消や接続性向上を図るなど一体的に見直し
- 今後、段階的に再編事業を拡大し、より持続性・利便性の高い公共交通ネットワークを圏域全体で形成

【作成主体・計画区域】 八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町

【計画期間】 2019年4月1日～2023年3月31日（5年間） ※2次再編：2020年4月/3次再編：2021年4月以降を予定



- 人口が集積する地域を運行する経路への見直しによる住民の利便性向上  
〔ハブ駅～ニュータウン線、多賀台団地線、お買物ライナー〕
  - 等間隔運行の維持に向けた事業者間での路線移管  
〔ハブ駅線、河原木団地線、日計線〕
  - ハブ駅～フェリーターミナル間の連携強化（路線延伸）  
〔シルバーフェリーシャトルバス〕
  - 経路見直しによる定時性の向上  
〔ハブニュータウン線、ピアドゥラピア線〕
  - 経路見直しによる観光施設への速達性向上  
〔是川縄文館線〕
- 等

## 【主な事業内容】

- **八戸市内幹線軸の利便性向上**
  - 人口が集積する地域を運行する域内交通（路線バス）の見直しによる利便性の向上
  - 本ハブ駅の拠点整備に合わせた見直し（長大系統の分割等）による運行の効率化
- **広域路線バスと地域内交通の一体的な見直し**
  - 域内交通から広域路線バスへ運行経路見直し等を通じた需要の集約
  - 広域路線バス・域内交通の役割分担等による運行の効率化（運行回数の適正化等）
- **庁舎移転や高校の閉校等に伴う広域路線バス等の見直し**
  - 鉄道、広域路線バス、域内交通等の接続性の向上等による圏域住民の移動ニーズへ対応

## 【1次再編による変化】

- 1日あたり運行回数（平均）  
再編前901.6回  
⇒再編後879.4回
- 収支率  
再編前66.0%  
⇒再編後66.4%